



おうぶ 桜舞

釧路市立幣舞中学校 学校便り
2024. 9. 28 号外

【校訓】 不撓不屈 【教育理念】 人を認め 人を褒め 人を励ます

保護者アンケートの結果

※4点満点で80%の3.2を目標値としています。

No.	項目	前期
1	目指す学校の姿や生徒の姿が、保護者に伝わっている。	3.1
2	学校は、HP、学校だより、学級通信等を通じて、学校の考えや生徒の様子などを積極的に伝えている。	3.4
3	先生方は分かりやすい授業を行っていると思う。	3.2
4	先生とお子様の中に、信頼関係ができています。	3.2
5	学校は、「HOP STEP JUMP」を活用させるなどして、家庭学習の定着を図っている。	3.1
6	学校は、少人数指導や放課後のまなび舎クラブ、夏・冬休みの学習サポート等を行い、生徒の学習を支援している。	3.7
7	学校は、いじめを積極的に認知するとともに、いじめの根絶に向けた未然防止、早期発見、早期対応の取組を適切に行っている。	3.3
8	学校は、生徒個々の違いを積極的に認め、すべての生徒が安心して学び、活躍し、成長できる環境を整えようとしている。	3.3
9	学校や先生は、問題行動など、生徒指導上の問題に適切に対応している。	3.3
10	先生方は、生徒の自立に向けて見守るべきところは見守りつつ、必要に応じて生徒間の問題に適切に介入している。	3.3
11	学校行事は、生徒のやりがいを引き出すための工夫がされている。	3.3
12	学校では、生徒の安全を最優先に不審者対策や登下校の安全指導等の対策が行われ、緊急時の連絡体制が確立している。	3.3
13	お子様は、1日平均1時間以上家庭学習に取り組んでいる。	2.7
14	お子様は、規則正しい生活をし、毎日朝食を摂っている。	3.4
15	お子様は、体育の授業以外週1回以上運動（1時間程度の徒歩での登下校も含む）やスポーツを行っている。	3.2
16	お子様の携帯電話、インターネット、SNS等の使い方について、保護者との約束を守らせている。	3.2
17	日頃、お子様とよく会話をしている。	3.7

●学校へのポジティブな意見（内容を変更せず、短い表現に変更しています。）

- 学校だより、学級通信、ホームページの充実により学校生活の様子がよく伝わる。
- 学校と家庭との連携により子育てに役立てることができている。
- 幣舞中に携わっているすべての職員が生徒達に対して真摯に教育してくださっている。
- 先生達はいつも子供達に対し丁寧に、一生懸命向き合ってくれている。
- 子どもが安心して学校生活をおくれている。
- 先生方は生徒にとっても真剣に接してくれて有難い。
- 先生方に声をかけていただくことが励みになっている。

●学校への改善意見（細かい内容は紙面の都合上掲載できませんでした。）

- 生徒の学びに関すること
リモート、テスト、個別対応の充実、授業を分かりやすく、家庭学習の充実、評価の厳しさ など
- いじめの問題に関すること
いじめが起きています。よく見てください。
- 部活動に関すること
変更があった場合の素早い連絡、練習の終わりの時間の厳守、部活の中での問題への対応
- 教職員の言動に関すること
保護者の話を聞いて欲しい、生徒に対する言葉遣い、生徒の意欲を妨げる言動
- 学校生活に関すること
規則を守らずスマホを持ち込む生徒がいる、スマホの持ち込みを許可すべき
- アンケートの必要性に関すること
質問が親の目に見えていない部分があり答えづらい、アンケートが必要なのか疑問
- 情報提供に関すること
学級通信もホームページに掲載を

【今年度の後半の家庭との連携に係る取組】

●教職員はこれまで同様、自信と誇りをもって教育活動を進めていきます。

●すぐに改善できる点は二つ

- 1 先生方の言動に関すること
 - すべての他者に対するリスペクトを
 - 生徒の学習権の保障
- 2 家庭との連携
 - 生徒一人一人のその日一日を納得させて帰宅させる。
 - 違和感があったり危なさを感じたりしたら、こちらから先に動く。

●時間をかけて計画的に取り組まなければならないこと

- 1 自立した学習者の育成
 - 教科の学習価値を生徒が見出せる授業づくり（大切・役に立つ・活かせる）
 - 生徒が夢や目標を持てる関わりの継続（認め・褒め・励ます）
 - 自己管理、自己調整力の育成

保護者の皆様と同じように、子どもに目をかけ、心を寄せようと先生方は努力しています。しかし、万能ではありません。子どものよりよい成長をともに考え、知恵を出し合い、協力して子どもを導いていくことが大切だと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



おうぶ 桜舞

釧路市立幣舞中学校 学校便り
2024. 9. 28 号外

【校訓】 不撓不屈 【教育理念】 人を認め 人を褒め 人を励ます

前期生徒アンケートの結果

※4点満点で80%の3.2を目標値としています。

No.	項目	前期
1	自分のよさや可能性を自覚し、自分を大切に する生徒 (Nusamai 私)	3.3
2	めざす生徒像 に対する自己 評価	
	共に学ぶ仲間一人一人の違いを 理解し、尊重する生徒 (Nusamai 愛)	3.5
3	協働的な学びを通して、価値や 学びを獲得したり達成したり する生徒 (nusamai 合い)	3.4
4	教育目標1 規則正しい生活をする。	3.2
5	健康安全に心 心身の健康の維持・向上に 心がけ、毎日元気に登校する。	3.5
6	掛け、強健な体 困った時に「助けて」と 言える。	3.1
7	を持つ人 失敗してもそこから学び、 立ち直ろうとする。	3.1
8	教育目標2 自学自習できる。	3.1
9	能率を考え、知 探求心を持って学ぼうとする。	3.2
10	識と知恵を活 深く考え、よりよい判断を して行動する。	3.2
11	かせる人 新たな知識やスキルを習得 するための努力を惜しまない。	3.1
12	教育目標3 自分の力を伸ばしたい という意欲を持って生活をする。	3.3
13	広い視野を持 好奇心旺盛で新たなアイデア や解決策を模索する。	3.1
14	ち、常に生活の 自分の考えを積極 的にアウトプットする。	2.9
15	前進を図る人 夢や目標を持ってそこ に向かおうとする。	3.2
16	教育目標4 自分のことも周りの人の ことも大切にできる。	3.3
17	自他を認め合 相手への敬意を持ち、礼儀 正しく振舞う。	3.5
18	い大きな心で 共に笑い、共に喜び、 共に悔しがり、共に反省する。	3.6
19	愛せる人 他人に左右されず自分の 意思で行動する。	3.2
20	「HOP STEP JUMP」を活用して 計画的に家庭学習を行う。	2.4
21	一日1時間以上、家庭学習に 取り組む。	2.8
22	体育の授業以外に週1回以上 運動やスポーツを行う。	3.3
23	行事を通して、満足感や達成 感などを感じることができた。	3.4
24	今年の取組の 自分は学校生活 の中で、周りから必要とされ ている実感を持っている。	2.8
25	重点に関する 自分がされたら嫌なことは、 相手にしないようにしている。	3.3
26	具体 学校生活を通じて、成長し 続けている自分を実感している。	3.0
27	家の人（保護者）とよく話を する。	3.6
28	自分にはよいところがある と思う。	3.1

もっと学校をよくするためのアイデア・意見

- 施設・設備に関すること
 - ・放送室の機材を新しく、1階のトイレを洋式にしてほしい。
- 学習に関すること
 - ・学び舎クラブの時間及び週にある回数を増やしてほしい。
 - ・5時間目に体育を入れるのはできればやめて欲しい
 - ・与えられに期間の中で十分に習える量のテスト範囲を出せるようにしてください。
 - ・ホップステップジャンプをより良く利用できるための説明や、学習で利用できるようにしてほしい。
- いじめの問題に関すること
 - ・オレンジデーなどを増やしていくとよい。
 - ・人の動作、顔、声などを馬鹿にする人が多い。そういうことをなくしたい。
 - ・もう少し授業でいじめとかの授業を増やす。
 - ・クラスの中での偏見や差別、悪口などが無くなると良いと思う。
- 学校生活に関すること
 - ・もっと平和な空間を作る。周りのことを考えた発言をする。
 - ・自分だけが楽しむのではなく周りのことも考えて楽しむことができる学校にしたい。
 - ・もっと相手と話し合ったりする場面を増やしたほうが良いと思いました。
 - ・挨拶を口にせず会釈だけの人が多いのでちゃんと挨拶できる人が増えるといい。
 - ・全生徒が学年関係なく仲良くできるような企画をもっと行うと人とのつながりができ、学校の雰囲気も明るくなると思いました。またこの企画内容としては nusamai 合いの協力をするゲームなどをして「合う」を高めることを行ったほうが良いと思いました。
 - ・ほこりアレルギーのせいで、匂いに敏感です。人の柔軟剤とかが辛いので、できる限り換気してほしいのと、廊下などもモップがけなど埃などで苦しむことが少なくなるようにしていただけたら嬉しいです。
 - ・クラスや学年、全校の悪いところがあったら指摘したり、アンケートを取ったりして改善する。
 - ・後期の行事が少ないから少しほしい。
- 校則に関すること
 - ・平和で不要物持ち込まない。
 - ・ポロシャツに羽織るもの許可してほしい。
理由 体温調節できるように、脱ぎ着できるようにしたほうが良いと思ったから。朝と昼で気温が違う日もあるから。
 - ・タブレットの使用ルールを厳しくする。

今後に向けて

幣舞中学校が向かっている基本的な方向性は間違っていないと考えます。今後は、「自己有用感に裏付けられた自尊感情の育成」と年度当初に掲げた「自立した学習者」の育成が大切な視点と考えます。生徒の自己評価や意見を見ていると、生徒自身がよりよい学校生活に向けて考えていることがたくさんあることに改めて気付くことができました。生徒の考えを引き出し、議論させ、実現に導いていく指導と支援が私たち教職員には必要だと思えます。幣舞中学校はまだまだよくなると思えますので、後期もみんなで学校を創りあげていきたいと思えます。